

令和5年度 おうとう病害虫防除暦

JAながの 須高フロック

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
1 発芽前 月 日	— NC	水 スプレーオイル	98 ℓ 2 ℓ	— 50 倍	350 ℓ	胴枯病 カイガラムシ類 ハダニ類	発芽前	—	・カイガラムシの重要防除時期なので必ず全園散布し、薬剤散布は温暖無風時に枝幹部を洗う様に丁寧にすること。散布ムラは手散布で補う。 ・発芽前に「石灰硫黄合剤」(9倍/発芽前/—)を散布しても良い。
コスカシバ対策 「フェニックスフロアブル」 (500倍/開花期まで/年間1回)を樹幹及び主枝に散布する。地際部から地上1mまですき間にしみこむ様丁寧に散布する。									
特別散布 開花直前 (開花1~2輪咲き) 月 日	— 3	水 展着剤 アンビルフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 100 mℓ	— 10,000 倍 1,000 倍	350 ℓ	灰星病	— — 7 日前まで	— — 1 回	
2 5月初旬 (落花直後) 月 日	— 17	水 展着剤 パスワード顆粒水和剤	100 ℓ 10 mℓ 66 g	— 10,000 倍 1,500 倍	350 ℓ	灰星病	— — 前日まで	— — 2 回以内	
3 5月中旬 (落花10日後) 月 日	— 3 1	水 展着剤 インダーフロアブル ㊸ ダイアジノン水和剤34	100 ℓ 10 mℓ 20 mℓ 83 g	— 10,000 倍 5,000 倍 1,200 倍	400 ℓ	灰星病 カメムシ類 アメリカシロヒトリ	— — 前日まで 14 日前まで	— — 2 回以内 2 回以内	
4 5月下旬 月 日	— 5 11+7	水 展着剤 ディアナWDG ナリアWDG	100 ℓ 10 mℓ 10 g 50 g	— 10,000 倍 10,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰星病 炭疽病 褐色せん孔病 ナシグンバイ シンクイムシ類 オウトウショウジョウバエ	— — 前日まで 前日まで	— — 2 回以内 3 回以内	・灰星病の発生が多いので、特に丁寧に散布する。 ・降雨が多い場合は、散布間隔を7日として十分散布する。
5 6月上・中旬 月 日	— 3 3	水 展着剤 ㊸ テルスターフロアブル オンリーワンフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 25 mℓ 50 mℓ	— 10,000 倍 4,000 倍 2,000 倍	500 ℓ	灰星病 炭疽病 オウトウショウジョウバエ ハダニ類	— — 前日まで 前日まで	— — 2 回以内 3 回以内	・灰星病の発生が多いので、特に丁寧に散布する。 ・オウトウショウジョウバエの発生が心配されるので、必ず散布する。 ・㊸「テルスターフロアブル」は、蚕毒・魚毒が強いので使用地域が限定されています。
6 6月下旬 月 日	— 3 2	水 展着剤 ㊸ スカウトフロアブル ロブラール500アクア	100 ℓ 10 mℓ 33 mℓ 66 mℓ	— 10,000 倍 3,000 倍 1,500 倍	500 ℓ	褐色せん孔病 灰星病 ナシグンバイ ハダニ類 カイガラムシ類 オウトウショウジョウバエ	— — 前日まで 前日まで	— — 2 回以内 3 回以内	・晩生種で灰星病の発生が心配される場合は、「パスワード顆粒水和剤」(1,500倍/収穫前日まで/年間2回以内)を散布する。

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病虫害 *太字は重点 病虫害	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
特別散布 6月下旬 月 日	— 3	水 展着剤 ㊸ テルスターフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 25 mℓ	— 10,000 倍 4,000 倍	500 ℓ	褐色せん孔病 灰星病 ナシゲンバイ ハダニ類 カイガラムシ類 オウトウシヨウジョウハエ	— — 前日まで	— — 2回以内	・晩生種は、オウトウシヨウジョウハエ対策の為、必ず散布する。 ・㊸「テルスターフロアブル」は、蚕毒・魚毒が強いので使用地域が限定されています。
7 7月上旬 (収穫直後) 月 日	— 25 M4	水 展着剤 ダニコングフロアブル オーソサイド水和剤80	100 ℓ 10 mℓ 50 mℓ 125 g	— 10,000 倍 2,000 倍 800 倍	500 ℓ	褐色せん孔病 灰星病 ナシゲンバイ ハダニ類 カイガラムシ類 オウトウシヨウジョウハエ	— — 前日まで 3日前まで	— — 1回 5回以内	
8 7月中・下旬 (収穫後) 月 日	— 16 M4	水 展着剤 アプロードフロアブル オーソサイド水和剤80	100 ℓ 10 mℓ 100 mℓ 125 g	— 10,000 倍 1,000 倍 800 倍	600 ℓ	褐色せん孔病 灰星病 ナシゲンバイ ハダニ類 カイガラムシ類 オウトウシヨウジョウハエ	— — 7日前まで 3日前まで	— — 2回以内 5回以内	
9 8月上旬 月 日	— 1	水 展着剤 ㊸ ダイアジノン水和剤34	100 ℓ 10 mℓ 83 g	— 10,000 倍 1,200 倍	500 ℓ	ナシゲンバイ カイガラムシ類 ハダニ類	— — 14日前まで	— — 2回以内	・ハダニの発生が多い園は、「コロマイト乳剤」(1,000倍/収穫7日前まで/年間1回)を加用散布する。
10 8月下旬 月 日	M1	水 ICボルドー66D	97.5 ℓ 2.5 Kg	— 40 倍	400 ℓ	褐色せん孔病 ハダニ類	— —	— —	・「ICボルドー66D」に替えて「4-4式ボルドー」を使用しても良い。
11 9月上・中旬 月 日	— 1	水 展着剤 スミチオン乳剤	100 ℓ 10 mℓ 100 mℓ	— 10,000 倍 1,000 倍	300 ℓ	ナシゲンバイ コスカシバ	— — 14日前まで	— — 2回以内	・コスカシバの防除は、木肌の割目などに薬液がしみこむ様に丁寧に散布する。